

## 8月の活動内容報告

### ビーバー(BVS)隊



**8/27** 夏休みは「葉っぱシール大作戦」と銘打って、各家庭で小枝章を目指して目標を立て、取り組みました。どのようなことに取り

組んだか、各々の取り組みを発表しました。

また、BVS 隊は夏のお泊り・キャンプがないけれどもキャンプファイヤーのようなことはでき

ます。画用紙などで作ったファイヤーを囲んで夏の思い出を発表しました。旅行に行った思い出や、夏休みに作ったものなどの発表がありました。その間にアクションソングが入り、まさにキャンプファイヤー。アクションソングは初めての曲や聞いたことのある曲に合わせて体を動かし、とても盛り上がりました。



### カブ(CS)隊



**8/5** 宿泊が初めてというスカウトが多いので、今回の集会ではキャンプの持ち物確認をしました。キャンプのしおりに書かれている持ち物リスト通りの物が揃っているか、デンリーダーを中心にじっくり確認です。それから、キャンプソングの練習です。キャンプファイヤーではみんなの大きな声が聴こえたほうが楽しくなりますから。残り

の時間では、カブブックの課目でなかなか行う機会がなかった、国旗の畳み方や、脈拍の数え方の練習をしました。

### ボーイ(BS)隊



**8/26** ジャンボリーから戻ってきた備品が JR コンテナで届けられたので参加隊各隊によって各々運び出されて無事元通りに倉庫に帰ってきました。コンテナは中野富士見町の佼成会看護専門学校駐車場に帰ってきました。あすなろ地区から参加の各隊は、協力して中野荷物備品を外に出し、目印のついた各隊の備品を頼りに自分たちのものを回収しました。中野 8 団からジャンボリーに持っていった備品はマーキー、長いす、その他と比較的少なくてすみましたが、杉並 9 団さんからは大量の備品を提供されていたので、併せて倉庫まで運び入れました。

### ベンチャー(VS)隊



**8/2** プログラム会議に S くんが参加し、夏キャンプについて打ち合わせを行いました。

**8/8** プログラム会議に T くんが参加し、夏キャンプについて打ち合わせを行いました。

**8/11** 国旗掲揚奉仕に F くんが参加しました。その後、プログラム会議を実施し、プロジェクト報告書を仕上げました。

### ローバー(RS)隊



**8/2-11** N さんが、第 17 回世界スカウトジャンボリーに奉仕参加しました。広報部に所属し、期間中のスカウト達の活動や生活の様子を取材し、カメラ撮影しました。

取材内容は、17NSJ アプリのニュースや日本連盟のインスタグラムに掲載されました。

**8/31** あすなろ地区ローバーの定例会が行われ、N さんが参加しました。



## 8月夏季キャンプの活動内容報告

カブ(CS)隊 夏季キャンプ舎営



**8/15-18** 今年のカブ隊夏季キャンプは3泊4日で、静岡県三島市立箱根の里にて実施しました。今回のテーマは「CUB's JAMBOREE」。いろいろな協議や種目を体験しながら、優秀組を目指します。

**8/15** 中野四季の森公園集合後、貸切バスで出発。渋滞にも合わず、順調に「箱根の里」に到着しました。開所式や施設の説明を受けたあと、午後からはさっそくハイキングを行いました。リーダーたちが用意したチェックポイントでの課題をクリアしながら、小さな滝のある沢まで行き、笹船



競争をしたりしました。夜は、ホールでゲームを行いました。

**8/16** 前日の夜から雨。朝も降ったり止んだり、霧も深く、朝礼やモーニングゲームは室内で行いました。だんだんと天候も回復し、野外で、午前中のプログラムである「ツイストパン」作りを行いました。粉をこね始めた状態を見ると、「本当にパンができるのだろうか？」と不安になりましたが、どの組もしっかりとした生地が出来上がり、かまどの火でじっくりと焼き上げたパンは、バターも何もつ

けなくてもとても美味しかったようです。夕食後は、ナイトハイキングを行いました。指令は、「暗闇で光る毒キノコを見つけ出し収穫せよ」で、夜のキャンプ場内を光る物を探し歩きました。

**8/17** 3日目は、快晴。朝礼も屋外で実施でき、クマスカウト達は立派に国旗の掲揚ができました。朝礼後は今回の目玉である大吊橋を渡るハイキングです。おそろいのTシャツを着て、また組ごとに課題



に挑戦しながら歩きました。吊橋からの眺めは遠くも駿河湾や富士山も見え、そしてなんと足元も見え、揺れも加わり、気持ちのよさと、ちょっとしたドキドキが楽しめました。吊橋を渡った先では、思い思いの家族へお土産も購入しました。夜はキャンプファイヤーを行いました。大きな火を囲みながら、各組が初日から少しずつ準備してきたスタンプを披露しましたほか、歌と踊りをみんなで仲良く楽しみました。

**8/18** 最終日は、スカウトの基本である「来た時よりも綺麗に。残すは感謝のみ」

を実行し、自分たちが使った部屋だけでなく、施設の玄関、風呂場、食堂も綺麗に清掃しました。その後、自分



へのお土産用に、木片でストラップを作りました。帰りも貸切バスでの移動でしたが、渋滞には合わず順調に中野まで帰ってきました。久しぶりに天候にとっても恵まれ、なおかつ、雨や霧、星空の気候、カニやトカゲやバッタなどの生き物たちに触れ合え充実した4日間でした。





## ボーイ(BS)隊



**8/15-19** 今年のボーイ隊夏季キャンプは4泊5日で、カブ隊と同じ静岡県三島市の箱根の里で行いました。今年はジャンボリーと重なったため、直後のキャンプで参加者も少なかったですが、4名が参加し、バスに乗って出発しました。

**8/15** 箱根の里キャンプ場に到着し設営しました。当初予定の上級者向けのキャンプ地ではなく、隣接のサイトが空いていたのでそちらに変更しました。設備



も整っていて快適なサイトを設営することができました。昼間は晴れていましたが夕方から雲行きが怪しくなり、夜には大雨となりましたが、テントは雨漏りすることもなくスカウトは普段通りにテントの中で就寝しました。

**8/16** サイト内の工作物で、2mの長さの棒を縛り合わせて物干し台を作りました。丸い棒を組み合わせて縛るためには、各縛りと筋交い縛りという高度な技術を必要とします。午前中は、バンチャスカウトの指導を受けて正しい縛り方を練習しました。午後には練習した結び方を使って大きな物干し台を作成しまし

た。大雨となったので作業はしばしば中断しましたが、それでも最後は完成させました。

**8/17** 追跡サインを追ってのハイキングに行ってきました。近くにある山中城址を目的地都して、この辺りの歴史を調査するハイキングです。追跡サインは残念ながら途中で見落としたために予定のコースからは外れてしまいましたが、地図とコンパスで目的地には無事にたどり着くことができました。昨日の雨天とは打って変わって、秋を思わせるさわやかな快晴に恵まれました。夜のキャンプファイヤはカブと合同で、スタンプはジャンボリーの報告を兼ねて外国スカウトとの交流を披露し、ジャンボリーソングの「珠洲のチカラ未来へ」も歌いました。

**8/18** キャンプも終盤で、今日は翌日の早めの撤収を考慮



した想定で、テントを使わない野営（ビバーク）に挑戦しました。自然の枝や葉っぱを使って寝床を作り、実際にそこで一泊します。サイトの内外から枝を集め、立木の上にロープを張って一人用のビバークできるスペースを作りました。夜はかなり冷えましたが、自然のもので野宿することができたので、良い経験になりました。



**8/19** 最終日は撤営して中野へ向けて帰ります。前日のビバーク訓練で備品の撤収は前日までに終えていたため、午前中に撤営が完了し予定通り帰路に立つことができました。帰りがけに快晴の中で夏の富士山を見ることができました。小田原からは憧れのロマンスカーで新宿まで帰りました。

出発時は4人のスカウトでしたが、体調不良などで2名のリタイヤがでたので最後は2名のほとんどソロ（単独）キャンプでした。

### ベンチャー(VS)隊



**8/15-18** 今年はVS隊キャンプを実施せず、3名全員のスカウトがカブ・ボーイ隊のプログラムに参加しました。

（カブ隊デンコーチ：田代くん、坂下くん ボーイ隊上級班長：福田くん）

ハイキングやキャンプファイヤーなど、各活動の準備や実施をサポートしました。また、各隊スカウトの先輩として、一緒に遊んだり、相談にのることで、より楽しいキャンプにすることができました。

## 第17回日本スカウトジャンボリー参加報告

**8/4-10** 石川県珠洲市で、第17回世界スカウトジャンボリーが行われ、中野8団から、6名のスカウトと2名の指導者が参加しました。全国に加え、海外からの参加者も併せて全部で約13000人。キャンプ生活をしながら、アクティビティーと交流を楽しみました。

8団の参加者は東京24隊に所属。8/3の夜に杉並公会堂に集合し、夜行バスで珠洲に向けて出発しました。



4日朝に予定通りジャンボリー会場にスタッフの歓迎を受けながら到着し、サブキャンプのアドベンチャーサイトに入って設営開始しました。午後には、早速ジャンボリーのお土産を買いに出店に出かけました。とてもいい天気で暑かったでしたが、日陰に入るとひんやりと感じました。5日は引き続き設営でしたが、特に24隊では高さが6メートルにもなる大型信号灯を作りました。日中は猛暑で気温が40度近くまで上昇し、体調不良を歌えるスカウトも何人か出ましたが、夜の開会式にはほとんどが回復し、ジャンボリーの開催式典に出席しました。大会ブ



プログラムでは、班別に参加することが基本で、班旗立てゲームという竹とロープ結びを駆使して、いかに高く班旗を掲げるかというのですが、24 隊の参加班は上位を取ることはできませんでした。それでもあすなろの他団からはコンパスゲームで 2 位を獲得するなど優秀な成績を上げていました。このほかにも様々なプログラムを自由に選んで体験してきました。交流会では、岡山のサイトに伺ってキャンプファイヤを楽しみました。お土産などを売っているジャンボリープラザの近くでは、スカウト達が自分たちのワッペンなどをその場に拵げて私設の交換会場が出来上がっていました。他府県や外国スカウトと交換をして大きな収穫を挙げたスカウトも居ました。アリーナでは初日の開会式、中日にジャンボリー大集会、最終日に閉会式が行われました。皇太子殿下をはじめとして、宇宙飛行



士の野口聡一さんなどがスピーチされた姿に一同は感激しました。あっという間の 1 週間が過ぎて、閉会式の翌日にはバスで珠洲を後にしました。杉並公会堂に到着し、真っ黒になった顔で帰着報告のセレモニーに出席しました。どのスカウトも楽しくも厳しかったジャンボリーでの思い出を胸に置いて、一回りも二回りも成長した実感を持ちました。

<https://www.scout.or.jp/17nsj/>

後援：文部科学省、防衛省、石川県、石川県教育委員会、珠洲市、珠洲市教育委員会

支援：陸上自衛隊第 10 師団

### 8 月のスカウト進歩情報

CS：	田仲悠菜さん	進級章「うさぎ」 チャレンジ章「災害救助員」「特技博士」
	小久保樹里さん	チャレンジ章「動物愛護」「災害救助員」「ハイカー」「キャンパー」 「工作博士」「チームスポーツ選手」「画家」「演劇家」
	植草 諒 くん	チャレンジ章「手伝い」「キャンパー」「救急博士」
	山下暁之亮くん	チャレンジ章「ハイカー」「キャンパー」「画家」
	安藤百渚さん	チャレンジ章「ハイカー」「水泳選手」
	大友舞花さん	チャレンジ章「ハイカー」「キャンパー」
	小林 凜 さん	チャレンジ章「ハイカー」「キャンパー」
	馬嶋花奈さん	チャレンジ章「キャンパー」「救急博士」
	山崎大智くん	チャレンジ章「キャンパー」「料理家」
	青野 遥 さん	チャレンジ章「キャンパー」
	松井晴輝くん	チャレンジ章「キャンパー」

# ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

8月に日本スカウトジャンボリー(17NSJ)が行われる少し前に、4年後の第18回日本スカウトジャンボリー(18NSJ)の開催地が発表になりました。東京です。今まで東京でNSJが開催されたことはなく、初めてのこととなります。新しいスタイルの都市型キャンプ、都市型ジャンボリーになると言われています。参加できるのはその年代にボーイ隊、ベンチャー隊になるスカウトです。現在のビッグビバー(2年生)からボーイ隊の中2スカウトまでが該当します。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



リーダーの活動	
8/2-11	17NSJ 大会運営 奉仕
8/23	地区委員会
8/27	地区各種運営委員会
8/27	地区コミ会議

\* 活動の写真はホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。現在、夏キャンプまでの写真がアップされています。  
<http://bsn8.world.coocan.jp/>

## スカウト互知識

### 「団の組織」

スカウトが所属する団。その一番身近で活動を支援する成人の人たちが、指導者(リーダー)であり、団委員です。言葉で説明するとややこしくなりますが、簡単に図で表すと右図のようになります。

隊の運営・スカウト達への直接的支援をするのが、隊指導者・協力者です。スカウトへの直接の教育には携わず、団の運営や各隊への支援をするのが団委員です。団委員長は団委員間の互選で選出されます。

育成会とは団を支える母体です。宗教組織に関連する団は、教会や神社が母体となることもあります。地域団である中野8団は、スカウトの保護者と指導者が育成会員になります。この他、有志の方々(主にOB)に育成会賛助会員としてご参加いただき、毎年ご寄付をいただいています。

活動を支えていくのは沢山の大人の力を必要としています。一般的に「ヒト・モノ・カネ」と言われます。隊指導者の役務である実際の活動、団委員会の仕事である活動の準備・支援、活動に不可欠な資金。現在、8団ではすべてにおいて大人の力が不足しています。特に団委員会の仕事を隊指導者が兼務している状態です。できる時にできることで構いません。お子さんがスカウトとして活動している時間にできること、日曜に限らず日々の生活の中であいた時間にできること。どんな形でも構いません。大人のみさんの参加をお待ちしています。

